

令和 6 年 7 月 1 日
消 防 庁**映画『もしも徳川家康が総理大臣になったら』とタイアップした
救急安心センター事業（＃7119）及びQ助を啓発するポスターの配布**

東宝株式会社の協力を得て、7月26日（金）より全国の映画館で公開の映画『もしも徳川家康が総理大臣になったら』とタイアップした、救急安心センター事業（＃7119）及び全国版救急受診アプリ「Q助」を普及啓発するポスターを作成し、全国の消防本部等に配布します。

○ 救急安心センター事業（＃7119）の概要

救急安心センター事業（＃7119）は、住民が急な病気やケガの際に看護師等の専門家が相談に応じる電話相談事業であり、住民が適時・適切な救急要請や医療機関受診を行う上で極めて有効な事業です。令和6年7月現在、全国30地域で実施されており、人口カバー率は66.8%となっています。

なお、今年度末までに全国36地域、人口カバー率78.1%となる見込みであり、引き続き事業の普及を推進しています。

詳しくは、下記ホームページアドレスをご参照ください。

<https://www.fdma.go.jp/mission/enrichment/appropriate/appropriate006.html>

○ 全国版救急受診アプリ（愛称「Q助」）の概要

全国版救急受診アプリ「Q助」は、急な病気やケガの際に住民自らが行う緊急度判定を支援し、利用できる医療機関や受診手段の情報を提供するWeb版・スマホ版無料アプリです。画面上に表示される選択肢から、該当する症状を選択していくことで、緊急度に応じた対応が、緊急性をイメージした色とともに表示される仕組みとなっています。

消防庁は、平成29年5月から提供を開始し、併せて、各団体による住民への周知に活用してもらうため、消防庁HP「Q助」サイトに啓発用チラシ及び動画を掲載しています。

詳しくは、下記ホームページアドレスをご参照ください。

<https://www.fdma.go.jp/mission/enrichment/appropriate/appropriate003.html>

○ タイアップする映画『もしも徳川家康が総理大臣になったら』について

公開日及び公開劇場

7月26日（金）より全国各地の映画館で上映

詳しくは、下記ホームページアドレスから公式ページをご参照ください。

<https://moshi-toku.toho.co.jp/>



【問い合わせ先】

消防庁 救急企画室 竹田・門口・工藤・岡村

TEL : 03-5253-7529

E-Mail : kyukyukikaku-kyukyurenkei_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。



全国版救急受診アプリ

症状の緊急度を素早く判定!!!
救急車を呼ぶ目安に!!!

Q助



最強すぎ内閣、誕生。

もしも
徳川家康が
総理大臣に
なったら

7.26 FRI
発足!



©2024 「もしも徳川家康が総理大臣になったら」 制作委員会

「救急車を呼んだ方がいいのかな?」

「病院に行った方がいいのかな?」

迷ったら、
救急安心センター事業

#7119



FDMA
国民とともに

総務省消防庁
Fire and Disaster Management Agency